

2. 環境理工学部理念・ポリシー

(1) 環境理工学部理念

人間活動が自然の許容限界に近づく規模にまで拡大した今日、例えば酸性雨や砂漠化のように地球規模の環境汚染や生態系破壊が進み、環境問題は一国だけで解決可能な範囲を越え、全人類の生存を脅かすまでに深刻化しています。

このように地球規模で拡大する環境問題に対処し、人類の持続可能な発展を可能にするため、自然科学と社会科学の分野で行われてきた自然環境、人間環境および社会環境に関する研究を学際的な立場から集大成することが重要になってきています。まさにこの時にあたって、自然と人間が調和した豊かで快適な環境を創造する能力をもつ人材を育成することを目的とした学部が岡山大学環境理工学部です。

(2) 環境理工学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）

環境理工学部は、地球規模で拡大する環境問題に対処し、持続可能な社会を構築するため、学際的な幅広い知識を身につけ、自然と人間が調和した豊かで快適な環境を創造する能力を持つ人材の養成を行っている。

この理念に基づく環境理工学部ディプロマポリシーは、学生が本学部を卒業するにあたって以下の学士力を習得したことを保証するものである。

・人間性と洞察性に富む幅広い教養【教養】

人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して関心を持ち、問題解決に向けての論理的思考力・判断力、今までの考え方・手法にとらわれない創造力を有し、人間性や倫理観に裏打ちされた学際的な教養を身につけている。

・幅広い知識に支えられた深い専門性【専門性】

専門分野の知識・技術などを身につけ、さらに専門の枠を越えた広範な科目を修得し、それによって多面的な観点から環境問題に取り組むことができる。

・問題解決のための情報収集・発信能力【情報力】

環境問題を広く、そして深く考える視点に立ち、必要に応じて自ら情報を収集・分析し、それを問題解決に活かす能力を有するとともに、効果的に情報発信することができる。

・コミュニケーション能力とそれを活かした行動力【行動力とコミュニケーション能力】

国際感覚や外国語能力と共に、様々な専門分野との学際的協力が行えるコミュニケーション能力を有し、地球規模から地域社会に至る環境問題などの解決のための的確に行動できる。

・生涯に亘って学習し向上する能力【生涯学習能力と自己実現力】

自立した個人として日々を享受する姿勢を一層高め、生涯に亘って自主的、継続的に学習を続け、持続可能な社会の実現への取り組みを通して自己の成長を追求できる。